



読字 原田 親

No. 633

2011/3/25

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒113-0045 東京都千代田区
西船場1-1-1 東1号ビル3階

日中友好協会
岡山支部
〒700-8256
岡山市東区3-8-30 511
TEL:0861272-3010
郵便番号11所
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒712-8011
倉敷市連島中央1-8-4
(宮地方)
TEL/FAX:0860446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



未曾有の大被害 東北関東大震災

日中友好協会本部の大震災情報

大震災情報①

日中友好協会本部の事務局
長矢崎光晴さんからFAXで送
られてきた情報をかいつまんで
お知らせいたします。

☆3月12日(土) 10時8分

全国のみなさんから心配い
ただいていることに、心からの
お礼を申し上げます。

被害が大きいと報じられている
東北地方の連合会・支部には連
絡がつかせませんでした。今朝
になり、宮城県連の渡辺事務
局長の携帯電話につながりま
した。仙台の県連事務所の中は
目茶苦茶だが人的被害はない、
帰宅はできず車のなかで夜を明
かした。ただ、会員には全く連
絡がつかないとのこと。

青森、岩手、福島とは連絡がと
りません。心配しています。

東京の本部事務所は、物がかな
り落ちましたが、建物に被害は
ありませんでした。ガスの供給
は止まっていますが、停電など
もありません。

昨夜は、交通機関が全てストッ
プし、複数の事務局員が帰宅で
きない状況となりました。

☆3月12日(土) 19時43分

福島在住の長尾会長と、宮
城県連の渡辺事務局長と連絡
がとれました。お二人から届い
たメールの内容をお伝えしま
す。

長尾会長 福島市もはげしく揺
れましたが、無事でした。15時
50分に電気は通じましたが、

電話は不通です。

宮城県連・渡辺事務局長 地震
の大きさと津波の恐怖で、娘の
車に車中泊し、今度は携帯電
話とラジオの電池切れでどうに
もならない状況です。まだ自宅
に戻っていませんが津波でおそ
らくダメかと覚悟しています。
余震がうなづいています。

電話は不通です。一
宮城県連・渡辺事務局長 地震
の大きさと津波の恐怖で、娘の
車に車中泊し、今度は携帯電
話とラジオの電池切れでどうに
もならない状況です。まだ自宅
に戻っていませんが津波でおそ
らくダメかと覚悟しています。
余震がうなづいています。



宮城県南三陸町 地震・大津波で家がすべて押し流された
行方不明者 8,000 人とも(3月19日現在)・・・ 写真は{赤旗}から

☆3月13日(日) 19時17分

ようやく秋田支部に電話が
通じましたが、青森、岩手とは
未だ連絡がついておりません。
宮城県連の漫画展は、開催を
断念することになりました。

渡辺事務局長からは、本日地
震後はじめて自宅に帰ってみた
ところ、家の中はめっちゃくちゃ、
近くの理事さんの自宅も片づけ
真つ最中で声かけられるもつら
く、玄関までたどり着くのがや
つとの思いでした。寒くて、冬に
逆戻りです。

中日友好協会、江蘇省人民
対外友好協会から、地震被害
に対するお見舞いのFAXが届
きました。兵庫県連、広島県連
などには、四川省人民対外友
好協会からのお見舞いメールが
届いています。初めてとなる中
国の救援隊も来日しています。

中国の皆さんのあたたかい思
いを、被災地の皆さんに伝えたい
と思います。

☆3月14日(月) 11時15分

東京は、計画停電による交通
機関のマヒと混乱が生じていま
す。このため、本部事務局員の
復数が出勤できない状況になっ
ています。

被災地に対する支援としてま
ず出来ることは、救援募金の取
り組みだと思えます。取り急
ぎ、できる範囲から呼びかけを
始めていただきたく、お願い申
し上げます。

☆3月14日(月) 19時29分

青森支部の平泉文枝事務局
長、岩手・盛岡支部の栃内博事
務局長、岩手・一関支部の島貫
謙次支部長と連絡がとれまし
た。秋田・大館支部の佐藤守事
務局長も被害はなかったことが
確認できました。

長く続いた停電で疲れがたま
っている様子でした。くれぐれも
大事にしてくださいと思いま
す。

本日、北京体育大学からお見
舞いのメールが届きました。広
島県連には重慶市人民対外友
好協会からお見舞いのFAXが
届いています。心強い激励です。

☆3月15日(火) 12時56分

日本で生活する中国人留学生
の代表が、50万円を大震災の
募金として外務副大臣に渡し
たとの報告が入りました。日
本が災害から回復することを
祈ります」との言葉も添えられ
ています。心から感謝し、その
思いに込めていかなければと思
います。

☆3月15日(火) 20時2分

宮城の渡辺事務局長は、事
務所も自宅も部屋のなかは目
茶苦茶。水はようやく出るよう
になったが、ガスが駄目で、復旧
までには数か月を要する見通し
とのこと。ガソリンなども手に
入らず、生活が次第に狭められ
ていく感がある。

関東地方では、茨城支部の佐合

事務局長、茨城県南支部の横
山支部長とも電話でお話する
ことができました。佐合さんの
自宅は物が飛び、割れるものは
全て割れるという状況。

福島も原発にも心配がつのり
ます。福島支部の長尾文枝事
務局長のお話だと、前の自民党
の知事は安全性が確認されてい
ない原発建設への反対を貫いた
が、今の民主党の知事が建設を
推進したとのこと。

☆3月16日(水) 19時0分

昨夜は静岡で震度6強の地
震があり、今日の昼過ぎにも茨
城県を中心にした強い揺れが度
重なりました。本部事務局も、
緊急地震速報が出る度に、避
難に備え腰を浮かせることが続
いています。

☆3月19日(土) 12時17分

東京は計画停電と交通機関
の混乱から会議開催が困難な
ため、常任理事会を大阪開催
とし、急遽大阪府連に会場の確
保をお願いしました。

都城支部にあててお見舞い文
が中国から届きました。江津・
都城友好協会、汕頭市人民対
外友好協会、中国共産党石家
荘市井陘区委員会宣伝部か
らです。都城の来住新平支部
長は「これは全協会員への激励の
見舞いだと思えます」と。

中国・四国中国帰国者支援・交流センター主催 広島センター学習発表会と広島市内企業見学会 岡山から10組の夫婦が参加



車の側に立つ益田百合子さん



車に乗っている益田夫妻



熱心にメモをとる篠原明男さん

3月14日、中国・四国中国帰国者支援・交流センター主催の広島センター学習発表会と広島市内企業見学会」が開催されました。岡山から10組の夫婦(高見・高杉・伊藤・篠原明・喜多川・守本・篠原広・谷本・蜂谷・山根)とその家族及び支援者(石黒・小林)に通訳の馬さんを含め34人が参加しました。

長岡団地を朝6時に出発、高島団地、西市団地、岡山駅西口を経由して、見学地のマツダ自動車に10時頃到着しました。

まず館内の概要を紹介しているビデオを見ました。もちろん説明は、中国語です。

その後、新車の展示ホール、歴史・エンジン・技術などの展示を紹介され、組み立てラインの見学、水素エネルギーを利用した未来車の展示を見学して終わりました。

参加した帰国者は、車に試乗したり、車のそばに立つてモデル気分を味わったりして楽しみました。

篠原明男さんは、いつもと同じようにメモをとりながら熱心に展示物を見ていました。マツダのあゆみの紹介の中で、創業者の松田恒次さんの座右の銘「照一隅者は国士」が、中国の故事に由来すると説明文があり、中国と日本のつながりの深さを感じました。

昼食を広島の帰国者が経営する店で美味しくいただき、学習発表会会場のある、広島県社会福祉会館に移動しました。

発表会の様子や、参加者の感想は次号で紹介します。

日中友好協会岡山支部

事務局長 小林軍治

「太極拳」劣等生のひとりごと パート②

小坂信代

「行きたかった内モンゴル！」

昨年の夏、日中友好協会の皆様が内モンゴルへの旅行を計画されていると知ったのは出発間際でした。とつても残念でした。私の一番行きたい海外はブータンですが、次に行きたいのがモンゴル等の山間部です。是非また中国旅行を計画してください。

1997年の夏、福祉の翼訪中団の介護スタッフとして上海に行きましたが、建設ラッシュの上海にはあまり興味がありませんでした。

2000年には、旧満州で7歳まで過ごした父と一緒に北京・長春・大連に行きました。満州鉄道の官舎のあった場所はお店になっていましたが、公主嶺の古い駅舎は残っていました。大連の港では、「一番はしっこ」の棧橋から船に乗って、ランドセルを背負って帰って来たんじゃないかと話してくれました。

現在父は84歳でグループホームで暮らしています。会いに行くとき来てくれたんか、ありがと〜と笑顔で迎えてくれます。孫たちも一緒に行った「おじいちゃん」を訪ねる旅からは、父からのたくさんのお話を聞き取る事ができました。

真田紀子

あこがれの香格里拉(シャングリラ) ③

シーサンパンナ(景洪)は北回帰線の南に位置します。まず最初に曼飛龍仏塔を訪ねました。ちょうど雨季にあたる時期だったので、山道に階段がつけてあるのですが、修理中で足元の悪い状態です。山肌にはゴムの木が植えてあります。このあたりは、タイ族が多く住む地域なので、仏教の寺院がたくさんあります。その中でもこの曼飛龍仏塔は有名だそうです。

お祭りの時(水かけ祭り)には大変にぎわうそうです。麓の集落にはタイ族の人々が住んでいるのですが、また観光地化されていなくて、トイレ設備がありません。地元の人々が使う物をお借りしました。三方に板壁があり、板の床に二つ穴があけてありました。何事も経験です。

午後から曼聽公園という街中の公園を散策です。帰りにフルーツ屋さんでバスを止めてくれたので、そこでお買い物です。珍しいド

仲間づくり推進コーナー

先日、県内在住の若い中国人男性から妻は、現在国際交流センターで日本語の学習をしているが、もっと勉強したいので、私たちの日本語教室について、わしく知りたい」との電話がありました。

日本語教室・岡山の会」の説明をし、高島公民館まで案内しました。結果は、西市から自転車で1時間以上かかるので参加できないということになりました。その後、岡輝公民館が利用できるか、館長に事情を話し、現在、新保に住んでいる山根夫妻といっしょに4月から日中岡山支部主催で日本語学習教室(仮称)の開講の準備をすすめています。こうした学習教室をおして、日中友好の輪を着実に広げていきたいと思えます。

さて、長岡教室のTさん(かつて日中中国語講座の受講生)が、4月からの購読を約束してください、拡大は途切れることなく続いています。小林軍治

ライフルがたくさんありました。中でも、ドリアンフルーツチップがとて美味しくて、ほとんどの人が買い求めています。

次回の新聞送付作業は

4月1日(金)午後1時半

民主会館2階で行います。

前回お手伝いくださった方

和賀 林内内井井垣
小竹竹坪深三